



令和4年度も残り1か月となりました



【美しい杏子の花に春の香りが…】

本校正門の右側にある杏子（あんず）の花が美しく咲いています。梅の花も開花し、春はもうすぐといった日々が増えてきました。ただ、三寒四温とはよく言ったもので、放射冷却等で朝晩の冷え込みがかなり厳しい日々が多いのも実情です。

なお、今週に入り、コロナやインフルエンザの感染児童が急激に減少してきましたが、卒業式や修了式まで、子供たちには健康第一に、元気いっぱいにご過ごしてほしいと思います。

自分らしさを磨き、進んで自己表現ができる子供の育成

今年度は、昨年度の教育課題や経営課題を基に、上記の重点目標を掲げ、全教育活動を展開してまいりました。特に、校務分掌の6つのチームや各学年で方策を掲げ、目指す子供像に向かって推進してきました。



なお、その成果と課題を、先月のCS報告会で市民の多くの皆様にお伝えしたところです。児童アンケート等の学校評価でも、子供の道徳性や非認知的能力、家庭学習力や学力の向上が見られ、具体的には、自尊心や人権感覚、表現力や学び合い等においても確実な伸びが見られました。さらに、子供たちの地域学習（ひと・もの・こと）への関心が高まり、地域に貢献したいという意欲も大いに向上しています。



特に、今年度の学校通信でも何度かお伝えしましたが、学習支援を中心とした地域人材や活動などをコーディネートして下さった5名の地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の尽力は、本校の教育活動の質の向上を図る、欠かせないキーパーソンとなっています。年度末にあたり、地域コーディネーターの皆様改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

次年度は、地域とともにある学校づくりの視点から、更に学校を核とした地域づくりの視点で、子供も大人も学び合い育ち合う教育体制を試みたいと考えます。

3月の主な行事予定

第42回卒業証書授与式は、3月17日です。

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	水		17	金	第42回卒業証書授与式
2	木	6年生を送る会	18	土	
3	金	委員会活動	19	日	
4	土		20	月	
5	日		21	火	春分の日
6	月		22	水	
7	火		23	木	3学期給食終了
8	水	市内一斉教職員研修日(4時間授業)	24	金	令和4年度修了式、離任式
9	木		25	土	
10	金	クラブ活動、PTA本部・企画会議	26	日	
11	土		27	月	
12	日		28	火	
13	月		29	水	
14	火		30	木	
15	水	6年生給食終了	31	金	
16	木	6年生修了式			令和5年度の第1学期始業式は4月7日(金)です。

いわゆる春休みは、3月25日から4月6日までの13日間です。規則正しい生活を送り、交通安全に気を付けるよう、ご家庭でもご指導ください！

4月の主な行事予定 (あくまで予定であり、変更になる可能性もあります。)

7日(金)	赴任式、第1学期始業式	16日(日)	1年生保護者委員アンケート〆切
11日(火)	給食開始、2～6年生保護者の学級委員アンケート〆切	17日(月)	3校合同挨拶運動
12日(水)	入学式準備	18日(火)	6年生全国学力学習状況調査
13日(木)	第43回入学式	19日(水)	1年生給食開始
14日(金)	3校合同挨拶運動、委員会活動	21日(火)	子供会議
		24日(月)	個人懇談(～28日)

みんなのふつうは ぼくのくつう～全国賞受賞～

毎年開催されています「いじめ防止標語コンテスト」において、本校5年生の平方こうしろうさんの作品が、全国15000以上の作品の中から、見事に全国賞(小学生の部)を受賞しました。おめでとうございます。

なお、この作品「みんなのふつうは ぼくのくつう」は、奥が深いと思いませんか。大変素晴らしい感性がこの作品に包み込まれていると思います。

ちなみに、平方さんに取材してみますと「いじめはもちろん、いじめじゃなくても、やってる側は悪気はなく、これぐらい〈普通のことじゃん〉と思っていることでも、相手は苦痛だと感じて、悩んだり学校に来れなくなったりするかもしれません。だから、自分の普通を相手に押し付けなくて、相手をお願いしてほしいです。」という言葉が返ってきました。

さらに、「そういったことを感じられる人、考える人になりたいし、周りのみんなにもそんな人になってほしいです。」という思いも語ってくれました。

今回はいじめの標語でしたが、現代社会では、自他の存在や互いの価値観を尊重し合い、認め合うことができる人権感覚が必要です。多様な価値観の存在を認識しつつ、共生社会の実現が求められている上でも、私たち大人もこの標語が意味する奥の方を捉えたいものです。当然ながら、学校でも、子供たちにいじめの醜さや多様な価値観等を、発達段階に応じて指導を継続していきます。そうすることで、誰にとっても「学校は あったかいところ」に近づいてくることでしょう。

